

NEWS LETTER

架け橋ひろば



代表コラム

～福祉と人権の未来を語る～

新年のご挨拶 －代表理事就任にあたって－

一般社団法人 未来への架け橋 代表理事 長谷川美栄

新年あけましておめでとうございます。

平素より、一般社団法人未来への架け橋の活動に温かいご理解と
ご支援をお寄せいただき、心より御礼申し上げます。

このたび、2025年12月1日付で、一般社団法人未来への架け橋の
代表理事に就任いたしました、長谷川美栄でございます。

まだまだ力不足ではございますが、皆さんに支えられながら、こ
の大切な役割をお引き受けする決意をいたしました。

未来への架け橋はこれまで、「学ぶことをあきらめない」「障害があ
っても、学び続けることができる社会をつくりたい」という強い想
いのもと、歩みを重ねてまいりました。



利用者の皆さんに見せてくれる日々の成長や笑顔、そしてご家族の皆さまの願いに触
れるたびにこの取り組みの尊さを実感しています。

私自身、重度の知的障害のある34歳の娘の母親でもあります。娘と共に歩んできた
日々の中で、「将来どうなるのだろう」「この子を安心して託せる学びの場はあるのだろう
か」と何度も立ち止まり、不安を抱えてきました。だからこそ、ここで学ぶ利用者の
皆さんやご家族の思いは、決して他人事ではありません。一人の母としての実感を、こ
れからの法人運営にも大切に生かしていきたいと考えています。

私は、前代表が大切にしてきた理念と実践を、これからも変わらず受け継いでまいり
ます。そして、利用者お一人おひとりの声により近い立場で寄り添いながら、「ここに
来てよかったです」「ここで学べてよかったです」と感じていただける場所であり続けられる
よう、誠実に取り組んでまいります。

これから私たちが目指すのは、特別な人のための特別な支援ではなく、誰もが自分ら
しく学び、成長できることが当たり前になる社会です。支援する側・される側という関
係を超えて、人と人として信頼し合える関係を大切にしながら、日々の支援を積み重ね
ていきたいと考えています。

社会や制度がどのように変わっても、目の前の一人を大切にする姿勢だけは、決して
揺らぎません。職員一人ひとりと力を合わせ、学びの場を守り育て、未来への架け橋を
安心して通っていただける居場所として、さらに丁寧に育ててまいります。

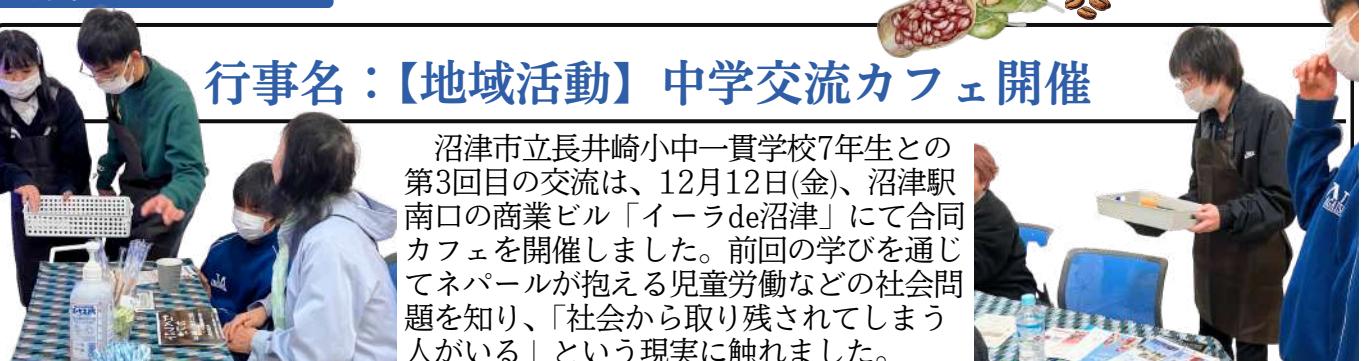
新しい年が、利用者の皆さんにとっても、ご家族の皆さんにとっても、そして職員に
とっても、あたたかな希望を感じられる一年となるよう、私自身も歩み続けてまいります。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

作業・運動：1年間の振り返り



行事名：【地域活動】中学交流カフェ開催

沼津市立長井崎小中一貫学校7年生との第3回目の交流は、12月12日(金)、沼津駅南口の商業ビル「イーラde沼津」にて合同カフェを開催しました。前回の学びを通じてネパールが抱える児童労働などの社会問題を知り、「社会から取り残されてしまう人がいる」という現実に触れました。



そして、世界だけでなく日本にも生きづらさを抱える障害のある方々が存在し、同じように社会から取り残されるケースがあることを知ってもらう機会となりました。「どうしたら良いのか」「どこに配慮が必要なのか」「共生社会とは」「インクルーシブ社会とは」——普段あまり意識することのないテーマに立ち止まり、考えていただく場として、フェアトレードコーヒーの試飲会を兼ねたカフェを行う事になりました。当日は、中学生と西浦地区の遊法苑さんのミカン、写真家・川口さんのネパール写真、みらいカレッジ、そして地域の方々との連携により開催されました。多くのお客様にご来場いただき、熱心に話を聴いてくださる方や「頑張っているね」と声をかけてくださる方から大きな励ましをいただきました。接客や販売など、参加者にとって大きなチャレンジの日となりましたが、皆が積極的に取り組み、大成功に終わりました。



MIRAICOLLEGE_MISHIMA
三島キャンパスの活動はこちらから

宇美キャンパス：特別講座 SST ～伝え方～



三島キャンパスから職員さんがきてくれました。
テーマは『伝え方』についてです。

三島職員さんの迫真的演技！！自分の気持ちを伝える方法は言葉以外にどんな方法があるかな？と、考えながらみんなで学びを深めていきました。

最初は、みなさん緊張した面持ちで、ワクワクドキドキされておりましたが、表情も和らいだところで、カードを使ったゲームを行いました。

職員がお題を出し、利用者さんは、自分の気持ちに近い表情のカードを選び発表しました。時間がかかるかな？と思いましたが、皆さん問題を聞いたらすぐに、気持ちカードを選び発表することが出来ていました。授業形式で90分間「座って学ぶ」という時間はとても新鮮でした。



特別講座の裏側～三島キャンパスの取り組み～

無事、皆さんの笑顔に包まれ、楽しく終わった特別講座。
—そこに至るまでには、三島キャンパス職員の試行錯誤がありました。



宇美キャンパスの「学び」は、出向就労・施設内就労などの実践的な活動が中心。
一方、三島キャンパスでは、座学を軸としたプログラムを多く取り入れています。

年間行事や地域活動、余暇活動など、体験を大切にしている点は共通していますが、日々の活動にはそれぞれのキャンパスならではの特色があります。普段は座学の機会が少ない宇美キャンパスで特別講座を実施するにあたり、三島キャンパスでは「どうしたら伝わるか」「どうしたら楽しめるか」を考え、準備を重ねてきました。

文字を書くことが得意な方もいれば苦手な方もいるため、プリントは3パターンを用意。シールや線つなぎなど、どなたでも取り組める工夫を取り入れました。また、「気持ちカルタ」やロールプレイを通して、自分の気持ちを選び、伝える体験ができるプログラムを構成しました。

さらに、宇美キャンパスでは座学の機会が少なく、大きなホワイトボードがない環境であることから、模造紙を3枚用意し、ページをめくる形で進める授業形式を取り入れました。板書の流れを事前にイメージし、あらかじめ記入できる部分は準備しておくことで、当日もスムーズにプログラムを進行することができました。

また、事前に三島キャンパスの利用者さんにも同じ内容を実施し、「楽しい」「もっとやりたい」といった声を励みに当日を迎えるました。

不安と緊張の中での特別講座でしたが、私たち職員にとっても、支援の工夫次第で学びの場はさらに広げていけると気づかされる時間となりました。



20歳を祝う会にて
ハレの日を迎えました

三島キャンパス：ベーシックコース MAさん

みらいカレッジに初めて来たときは緊張していましたが、以前お世話になった職員がいてくださったので、とても心強く感じ、「ここでまた頑張りたい」と思いました。行事やクラスタイムの時間が特に好きで、みんなで過ごせる時間が多いたことが嬉しいです。クラスタイムでは計画を立てたり、振り返りの文章を考えたり、写真を見たりするのが楽しく、充実した時間になっています。たまにみんなでトランプをするときもあり、先生方や仲間と一緒に遊ぶことでリラックスできるのも楽しみのひとつです。日直やカレッジでの仕事がある日は「充実した一日だった」と感じられるので好きですし、自信がないときに背中を押してくださったり、愛犬の話を聴いてくださったりする職員との関わりも心強く、ありがたいと感じています。以前は相談する勇気がありませんでしたが、最近は悩みを言えるようになったことも自分の成長だと思います。今後は、普段参加できない体育にもチャレンジしてみたいと思っています。三島キャンパスはみんな優しく、毎日安心して楽しく過ごせているので、これからも仲良く、いつも通りの雰囲気で過ごしていきたいです。いつもありがとうございます。

「これからも仲間と一緒に、笑顔で過ごしていきたいです。」



“笑顔と明るさと温かさを大切に”

宇美キャンパス 生活支援員（出向就労担当）山崎未紗さん

12年前に調理員として入職しました。当時は料理が好きで、利用者さんが毎日きれいに残さず食べててくれて、「おいしかった」と声をかけてくれる皆さんのが笑顔に支えられていました。厨房から見える日常の風景には、職員と利用者さんが楽しく談笑する姿や、仕事に真剣に取り組む姿がありました。一人ひとりが「自分」や「個性」を出して、それに寄り添い支援を行う職員の姿を見て、「自分も支援に携わってみたい」と思うようになったことが、この仕事についたきっかけです。その後、郊外行事のヘルプを通して利用者さんと関わる機会が増え、旅行や行事、作業とさまざまな活動に参加するようになりました。育児休暇から復帰した年に、支援員として本格的に皆さんと関わることになりました。

普段の支援では、毎日明るく元気で、笑顔を大切にしています。利用者さんが悲しいことや嫌なことがあった時にも、相談しやすいよう受け止める姿勢を意識し、母親のような寛大で温かい心で接することを心がけています。

印象に残っているのは、以前はまったく話してくれなかった利用者さんが、年を重ねるごとに他者に关心を持ち、身近に起こった出来事を話してくれるようになったことです。

今後は、地域や学校のイベントに参加し、もっと多くの方に利用者さんのことを知ってもらい、思い出をたくさん作っていきたいと考えています。また、近隣の子どもたちとの関わりを増やし、「福祉の仕事って楽しそう」「やりがいがありそう」と、将来の夢の一つとして福祉の仕事に興味を持ってもらえたなら嬉しいです。

最後に、ご本人はもちろん、ご家族の皆さんにも安心して預けていただけるよう、環境設定を第一に支援を行ってまいります。「ここを選んでよかった」と言ってもらえる施設を目指し、感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきます。

みらいカレッジ三島キャンパスでは5月から、沼津市内にある介護施設の草取りをさせていただきました。介護施設からご依頼をいただいて約7か月、炎天下の暑い中での作業からスタートしました。真夏には熱中症に注意し、時にはアイスで息抜きをしながら取り組んできました。その後、徐々に気温も下がり、すっかり寒くなった中でも、変わらず作業に取り組んできました。



主な作業は庭のドクダミのカットです。ドクダミは根から抜いてしまうと強くにおうため、ハサミで根元をカットしていきます。毎回ゴミ袋が数袋になるほどの量を、みんなで協力して取り組みました。介護施設の方からは、作業後に果物やお菓子など、お礼としてお土産をいただくこともあり、利用者の皆さんにとって、働いたことへの感謝を目に見える形でいただけたことは、やりがいにつながりました。

利用者さんの中には虫に強い苦手意識がある方もおり、最初は戸惑っている様子も見られました。しかし回数を重ねる中で、だんだんと活動に参加するようになり、苦手ながらも皆が取った草を回収する姿が見られました。草取りを通して得られた成長は、「草を取る」という作業面だけでなく、みんなで協力して働くことや、苦手なことに自分なりに向き合うことなど、多方面にわたる良い経験だったと思います。

先日、最後の日を迎えて、先方から「皆さんのおかげでとってもきれいになりました。介護施設の利用者さんからも『庭がきれいになったね』と言われます。草取りを通じて、こんな仕事をあるんだなと気づきがあったら

うれしいです。5月からありがとうございました」と、温かいお言葉をいただきました。

地域の一員として認められているからこそ草取りの依頼をいただけたこと、実際に施設の庭をきれいにして地域に貢献できたことが、かけがえのない経験となりました。

改めて、5月から草取りを依頼してくださった介護施設の皆さんに感謝を申し上げます。

ご家族の声

～ご家族のまなざし～

No.7：宇美キャンパス 生涯学習コース K・Mさんご家族

高校を卒業してから27歳まで、お世話になった施設を退所し、今後の進路を決めかねておりました。そのような時、退所した施設の元職員の方から、当時おられた「みらいカレッジ宇美キャンパス」の前身でもある「パン工房」へのお誘いを受け、通所することになりました。それから16年が経ちました。

毎日通所できない時期もありましたが、現在は毎日通所しています。性格的には、拘りが強く、頑固で気難しいところがありますが、職員の方がしっかりと向き合い、真剣に取り組んでくださっています。そのおかげで拘りも少なくなり、口数も増え、新しい言葉も耳にするようになりました。



それにより、自分の意思を出し、自然に自分を主張するようになりました。親としては、その姿に成長を感じています。

今まで紆余曲折があり、新たに拘りが出てくることもありました。職員の方の声掛けや見守りに加え、必要な場面ではきちんと伝えていただく関わりの中で、無事に乗り越えることができました。

今の職員の方々に出会えたこと、本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。



管理者より

～キャンパス長のつぶやき～

三島キャンパス管理者 中村美美子さん

障害のある長女の誕生をきっかけに、母親として、家族として、娘とその障害と歩んできました。娘の進路や人生を共に考えるために、障害福祉の制度やサービスを学びたいと思い、この世界に飛び込みました。



働く中で、障害福祉に携わる人々について考えことがあります。障害者福祉の仕事は決して楽ではありません。理想と現実の間で悩むことが多いのですが、それでもこの仕事を選び、人生の大切な時間を費やす人々は、単なる「支援者」ではなく、障害のある方のまっすぐな心や懸命な姿に触れ、共に成長する喜びを知る存在だと思います。

その喜びを多くの人に伝えるためには、知識や支援のノウハウだけでなく、人間力や使命感が欠かせません。目の前の一人ひとりに真摯に向き合い、その人の人生に寄り添いながら歩むこと——それこそが福祉の本質であり、温かさの源だと感じています。

福祉の価値をどう評価するかは、日本社会全体の課題でもあります。AIが進化する現代にあっても、人と人が向き合うこの尊い仕事は決して代替できません。だからこそ、福祉を「天職」と信じ、共に歩んでくれる仲間をどう見つけていくか増やしていくかが大切です。

私は今日も、自分にできることを模索しながら、目の前の方と共に笑い、悩み、成長していく日々を大切にしています。福祉の仕事には、そんな温かい時間が流れていることを、少しでも多くの人に伝えられたらと願っています。

最高の1枚 ～今月のベストショット～

各キャンパスおすすめベストショット

宇美キャンパス



カレンダー作り
来年の準備

三島キャンパス



中学交流 カフェ開催
カフェ後の意見交換

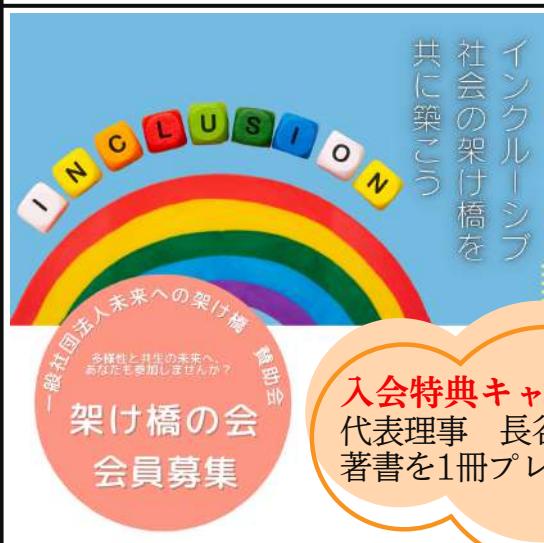
広がる架け橋コミュニティ
ご支援、心より感謝申し上げます。

フロントップ株式会社、リーフラス株式会社、公益財団法人つなぐいのち基金、ぜんち共済株式会社、一般社団法人UBUNTU FSプロモーション、株式会社入江感動経営研究所、北村悦子、酒井巳喜雄、國分幹生、篠田哲郎、奈倉京子、山中和彦、鎌倉はんこ月野允裕、倉光美奈子、倉光晃子、石山早苗、森本創、宮入卓也、小松原修、石川真希子、砂長美ん、宮崎信恵、山田千春、山本真知子、石井真人（敬称略・順不同）

※賛助会員のご紹介は、事前に掲載許可をいただいた方のみ記載しております。



法人の思いや活動にご賛同いただける方のお申込みをお待ちしています



共に築こう
社会の架け橋を
インクルーシブ

入会特典キャンペーン
代表理事 長谷川正人の
著書を1冊プレゼント！

活動内容

♪ 福祉啓発活動

ニュースレターやウェブサイト、SNSを活用し、
活インクルーシブ社会を目指して活動内容や成果
を広く発信します。

♪ 会員間のネットワーク構築

会員間の意見交換や共同プロジェクトを行います。

【お申込み】



【年会費（1口）】

法 人	特別会員	10万円
	正会員	5万円
	賛助会員	1万円
個 人	特別会員	3万円
	正会員	1万円
	賛助会員	3千円

読者の声・アンケート

～架け橋ひろばを読んで～

「架け橋ひろば」をいつもお読みいただき、ありがとうございます。
皆さまからのご感想やご意見は、私たちにとって大きな励ましであり、
活動を続ける力になっています。
これからも心に寄り添えるニュースレターをお届けしてまいります。
よろしければ右のQRコードよりアンケートにご協力ください。
メールでのご感想もお待ちしております。



info@miraicolllege.com

お知らせ

～講演会・イベント情報～

2026年1月10日（土）、一般社団法人未来への架け橋 理事・長谷川正人による講演会を開催いたします。法人として大切にしてきた思いや、みらいカレッジで大切にしている学びの意義、地域とともに歩む取り組みについてお話しします。当日は三島キャンパス管理者・中村英美子も登壇し、日々の活動や利用者さんの成長事例をご紹介します。

みらいカレッジに関心のある方、特別支援学校の先生方、福祉関係者、保護者の皆さんなど、どなたでもご参加いただけます。お申込みは紙面のQRコードから簡単に手続きいただけます。

また、講演会当日は2026年度の利用相談にも応じます。進路検討中の方や見学をご希望の方もお気軽にお声がけください。

お申込みはこちらから

※お電話・メールでも承ります



卒業後の進路に不安がある方へ

知的障害など発達のペースがゆるやかな若者にとって
「卒業後も学べる環境」は自立や社会参加に向かうために欠かせません。
みらいカレッジは、仲間との青春と、働くための力を育む「大学のような学びの場」。
講演会では、その必要性や実際の支援・成長の事例をお伝えします。



講演会情報

卒業で終わらせない学び
～障害のある若者が自分らしく生きる社会へ～

会場
三島市民文化会館 大会議室
〒411-0039 静岡県三島市一番町20-5
三島駅南口より徒歩5分

お申込
お電話、メールでも承ります

参加費無料！

現場管理者による
質疑応答あり！

2026年4月入学
相談可能！

一般社団法人未来への架け橋

登壇者 理事 長谷川 正人

福岡県出身。日本福祉大学院修了。

障害者支援施設での勤務を経て、31歳で社会福祉法人を設立。

琳の進路に悩んだ経験から、52歳で「福祉事業型カレッジ」を創設。

卒業後も学び続けられる環境づくりを先駆的に進めてきました。

現在は、「誰もが笑顔で暮らせる社会」を目指し、研究と実践の両面から活動している。



みらいカレッジ三島キャンパス
〒411-0039 静岡県三島市舟町2-16 あなたのビル2F
TEL 052-861-021
MAIL info@miraicolllege.com



スケジュール

1月の行事・イベント予定

みらいカレッジでは、いつでもキャンパスをご見学いただけます。

「どんな雰囲気なのかな?」「活動を見てみたいな」など、少しでも

ご興味をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせのうえ、お越しくださいませ。



SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
				1	2	3
4	5 地域活動 初詣（三島）	6	7 オンライン 説明会 書初め (三島)	8	9	10 長谷川理事 講演会 三島市民文化会館 障がい児者 美術展鑑賞 (宇美)
11	12 20歳を祝う会 (三島)	13	14 オンライン 説明会 地域活動 ゴミ拾い（三島） 郊外行事（宇美）	15	16	17 余暇活動 (宇美)
18	19	20	21 オンライン 説明会 地域活動 ゴミ拾い（三島）	22	23	24 余暇活動 (宇美) 沼津商業高校 バスツアー交流 (三島)
25	26	27	28 オンライン 説明会 地域活動 ゴミ拾い（三島）	29	30	31 余暇活動 (宇美)

編集後記

広報部より

新年明けましておめでとうございます。

今月号では、三島キャンパスによる宇美キャンパス利用者さんへの特別講座の様子をご紹介しています。当日の詳しい様子や職員の気づきは、ホームページのブログにも掲載しておりますので、ぜひあわせてご覧ください。

実は、宇美・三島キャンパスの職員は毎月オンラインで交流する機会がありますが、直接対面するのは今回が初めてでした。実際に顔を合わせることで、お互いの人となりをより深く知ることができ、大変貴重な時間となりました。そして何より、宇美キャンパスの利用者さんと直接交流できたことがとても印象に残っています。直接お会いしたこと、広報誌を編集する際にも「○○さん、楽しそうな表情だな」と、より身近な存在として感じられるようになりました。

地域との交流、そして法人内での交流の双方を大切に積み重ねながら、本年も法人および各キャンパスの歩みを「架け橋ひろば」を通してお届けしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

OPEN
CAMPUS
お申込み



学びをチカラに。未来を拓く!
一般社団法人 未来への架け橋

<https://mirai-kakehashi.com/>

お問い合わせ
TEL: 0120-861-821
E-Mail: info@miraicolllege.com

